

学校や地域で福祉学習の実施をお考えの方向けの

福祉学習プログラム ハンドブック



北社協キャラクター
「アイちゃん」



- 北社協の福祉学習プログラムは、歳末たすけあい募金を財源に実施しています。
- プログラム実施に係る費用は無料です。●実施3か月前までにお申込みください。



はじめに



誰もが安心して暮らせるまちづくりの実現のため、当会が実施するプログラムは、教職員と地域住民・関係機関・団体等が協力して進めていき、以下の事項の達成を目指して推進及び展開を図っています。

- 1 「福祉」が特別な人のためのものではなく、自分や家族の生活に関係することを学ぶ機会を提供する。
- 2 区内の福祉団体の活動状況などについて知り、学ぶ機会を提供することで、福祉活動等への参加や活動の応援につなげる。
- 3 地域の福祉課題や多様な価値観について学ぶ機会を提供する。
- 4 自分自身の課題を解決しうる福祉制度や社会保障制度について学ぶことで、生活力の形成につなげる。



大切にしていること

提供するプログラムは、児童・生徒の「気づき」「共感」を促し、「行動」に結びつくような内容を心がけています。そのため、当事者の講話・交流、疑似体験やゲーム、関連物品のご紹介など、多様なものになっています。

気づき



わたしたちの地域には、高齢者、障がい者、子ども、外国人など、さまざまな人が生活しています。そのような方々に関心を向けると、多様な価値観に気づききっかけとなります。

共感



さまざまな人たちとのふれあいを通じ、その生活や思いを自分自身のこととして感じられるようになります。これが「共感」です。当会では、この共感する心を育むことを、とても大切にしています。

行動



「気づき」や「共感」が得られた後、日常生活の中で、周りにいる人たちに対し、どのように関わっていくかを自発的に考え、実際に「行動」に移すことが期待されます。





実施可能なプログラム

- 視覚障がいの理解 ● 聴覚障がいの理解 ● 車イスの操作
- 高齢者の理解 ● 多様性の理解 ● ユニバーサルデザイン
- 民生・児童委員との交流 など

プログラム例は当会ホームページや3ページを見てね！



● 当日の職員による講義をはじめ、当事者の講話、疑似体験など豊富なプログラムをご用意しております。

● 事前学習、事後学習の実施は基本的に学校様のほうでお願いしておりますが、実施方法についてはご相談ください。

● ご要望等ございましたらお気軽にご相談ください。時期や当事者の都合等により実施できない場合もあります。



授業で活用できる映像資料

事前学習や事後学習で役に立つ映像資料を制作しています。そのほかハンドブックには掲載していない情報等を掲載しています。ぜひご活用ください！

北社協ホームページで映像資料が見られるよ！



ほかにも役立つ知識などを随時アップデートしているよ！



ホームページの閲覧方法は6ページに載っているよ！



プログラム実施例（視覚障がいの理解）



ねらい

- 1 「視覚障がい」に関する正しい知識を得る
- 2 体験と当事者の講話を通じて、当事者の気持ちの理解、共感へつなげる
- 3 学習を通して自分たちにできること、行動するきっかけ作りをする

単元	1～2単元（90分間程度）	実施場所	教室、体育館、図書室 ほか
対象人数	10～100名程度 ※上記以上の人数の場合はご相談ください	使用教材	アイマスク、サインガイド、ユニバーサルデザイングッズ ほか
対象学年	小学3年生～中学3年生 ※歩行体験は、小学5年生～推奨	講師	視覚障がい当事者団体など

実際の様子



当事者の講話



道具やゲーム・スポーツを通じた各種体験



歩行体験





事前学習

● 調べ学習

- 視覚がいの症状やお困りごとについて調べる。
- ・視覚障がいも色々な症状があること
 - ・先天的、後天的な障がいについて

● 学校や地域のバリアの調査

学校や地域の中の普段利用している場所のバリアを「自身の目が見えづらかったらどうするか」想像しながら探してみる。

教材等は基本的に各学校等でご用意いただきますが、まずはご相談ください！



当日

● 当事者の講話・体験

- ・視覚障がい者がどのような日常生活を送っているかを知る。
- ・普段どのようなことで手助けが必要か知る。
- ・体験を通じ当事者のお困りごとを知り、お気持ちに共感する。



- ・アイマスク使用にてゲーム
- ・アイマスク使用にて歩行体験
- ・ユニバーサルデザイングッズの使用
- ・スポーツ体験 ほか

体験は先生方のご協力もあると助かります！



事後学習

● 終了後の取り組み

- 学習を通しての振り返り
- ・発表会
 - ・感想文
 - ・新聞づくり ほか

基本的には各学校等の進め方に沿って計画いたします。



子どもたちからの感想など



いつも感想いっぱい！

今までは自分には関係ない事だと思っていました。学びを通して自分も何かの役に立ちたいと思えるようになりました。

中学3年生

目の見えない人におしえてあげたり、お金を落としてしまったら拾ってあげたりしたいです。

小学5年生

やさしく声をかけてくれることは手つだってあげたいです。

小学3年生

プログラムの中で障がい者スポーツに興味を持った児童が多く、事後学習として障害者スポーツセンターへ行きました。

小学校教諭



実施までの主な流れ

1

申込

3 か月前

当会ホームページから申込書をダウンロードし、メールにてお送りください。

送り先

mail manabi@kitashakyo.or.jp

2

打ち合わせ

2 か月前

貴校のご希望、実施单元などについて打ち合わせをさせていただきます。

3

実施

当日

当事者からの生の声や、実際の体験を通じて、学習を行います。

4

振り返り

1か月以内

学習内容の強化、今後の課題の発見につながります。

- 当会の福祉学習プログラムは、学校側のご要望を伺いながら、児童・生徒の学びをより一層深められるように、障がい当事者・団体、地域のボランティア、関係機関・団体にご協力をいただき、プログラムを提供しています。
- プログラム作成段階で数回打ち合わせの場を設けさせていただいております。
- お申し込みは原則3か月前までをお願いいたします。
- より効果的な学習にするため、テーマに即した事前学習もおすすめしています。
- そのほか、必要に応じ施設の実地踏査などを実施します。

ご要望を伺います！



プログラム実施を考えている先生方へ

北社協が直接提供するプログラムは、**実施3か月前までに** ご相談ください。

* 実施は先着順のため、申込状況によってはご希望に沿えないこともあります。

* プログラム提供団体を紹介させて頂くことも可能です。

より良いプログラム実施のために、ご協力をお願いいたします。





北社協ホームページへ

こんなときには北社協



① パソコンやスマートフォンで「こんなときには北社協」で検索

② 「学生・学校関係者の方」をクリック

●映像資料や申込用紙のダウンロードをはじめ、ハンドブックには掲載していないプログラム実施例など幅広く情報を掲載しています。



③ 「福祉学習について」をクリック

身近な地域の疑問に、
アイちゃんがお答えしています！

- ユニバーサルデザインってなんだろう？
- 目が見えにくってどういうことだろう？
- 車イスってどうやって使うの？ など

事前学習や事後学習など、ふと気になった時にもぜひご覧ください！





北社協の福祉学習は、みなさまからいただいた

歳末たすけあい募金や社協会費等を財源に実施しています。



会費

いつでも

個人の方は1口500円から、団体や企業の方は1口1,000円からお受けしています。

ご寄付

いつでも

歳末たすけあい募金 毎年12月

- **歳末たすけあい募金**（区内で実施する職場募金など）や
会費・ご寄付、使用済み切手の換金等を財源に実施しています。
- 募金や北社協の一員となり、こうした福祉学習やそのほかの
事業を一緒にささえてみませんか？

* 「北社協の一員」とは、当会の趣旨・事業にご賛同いただき、会員として年会費を納めていただくことです。



北区岸町1-6-17

社会福祉法人北区社会福祉協議会 福祉学習担当

TEL 03-3906-2352 (代表)

FAX 03-3905-4653

Mail manabi@kitashakyo.or.jp

令和3年12月発行